



## 広島市医師会臨床検査センターだより 500号発刊のご挨拶

広島市医師会会長 松村 誠

臨床検査センターだよりは、本号で第500号を迎えることとなりました。昭和44(1969)年の第1号発行以来、本号に至りましたのも、これまでご協力いただいた先生方、役員等関係者の皆さまのご尽力の賜物と深く敬意を表し、心より感謝申し上げます。

広島市医師会臨床検査センターは昭和36(1961)年の開所以来、一貫して「会員のための検査室」として地域医療の支援拠点施設としての役割を担ってまいりました。医療機関の高度化や効率化等が求められている昨今、広島市医師会臨床検査センターは先生方のニーズにお応えするべく、精度管理はもちろん、検体回収・結果報告の迅速化、各種情報発信に努め、会員の「診療支援・経営支援・職場支援」、中でもIT支援、新規開業支援も積極的に行っております。

平成27(2015)年からは「会員支援、特に診療支援に関する高付加価値サービスの創出」に向け、検査データ手帳の発行、疾患別検査ガイドの発刊、5Sの院内導入支援に取り組んでまいりました。中でも疾患別検査ガイドは、専門医、運営委員の先生方にご協力いただき、現在までに計8巻を発刊することができました。

第500号を迎えた今年、広島市医師会臨床検査センターは来年度の臨床検査室の国際規格ISO15189の認定取得を目指し、準備を進めております。また、検査技師の多能化、「説明できる検査技師」の育成に取り組み、広島市医師会臨床検査センターだからこそできる、より高いレベルでの会員支援を目指し、日々精進しております。

役職員一同、会員支援を第一義に、信頼される検査センターを目指してまいりますので、引き続き、会員の皆さまのご協力とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。